



(住所) 奈良市西紀寺町40  
 (祭神) 崇道天皇  
 (交通) JR・近鉄奈良駅からバス  
 「紀寺町」下車すぐ

(拝観) 午前7時〜午後4時半  
 月曜閉門  
 (駐車場) コインパーク  
 (電話) 0742・23・3416

### 崇道天皇社 (奈良市)

奈良町の南に立つ崇道天皇社は、桓武天皇の弟・早良親王(崇道天皇)を祭る神社です。



781(天応元)年、桓武天皇の即位に伴い、早良親王が皇太子となりました。しかし、天皇は奈良の寺院勢力との関係を断ち切る目的などから、784(延暦3)年、

長岡京に都を移しました。藤原種継はこの計画

て命を絶ちました。その後の近親者の病死や、たび重なる洪水、疫病を早良親王の祟りと信じた天皇は、崇道天皇の名を与えて、大切に祭るよう命じました。

早良親王がこの種継事件に加わったと思い込んだ天皇は、皇太子を解任し、乙訓寺に幽閉しました。親王は無実を訴えましたがが許されず、絶食し

皇を祭らせました。桓武天皇の死後即位した平城天皇は806(大同元)年、当地に崇道天

さらに平城天皇は崇道天皇の霊を慰めるため、各地の国分寺の僧に、春と秋にお経を読むことを命じました。これが彼岸会の始まりとも言われています。本殿は1623(元和9)年、春日大社の摂社・春日若宮社の式年造替に伴い、旧本殿が移されたもので、国の重要文化財に指定されています。(奈良まほろばソムリエの会会員 塩崎ヒデミ)

# 遷都巡る悲劇 鎮魂の社